

令和3年度

事業報告書

# 令和3年度事業報告書

## I 総括事項

当センターは、建設技術者の資質の向上を図るとともに、県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行を支援し、もって良質な社会資本の構築に寄与することを目的とする財団法人として平成7年4月1日設立され、その後、公益法人制度の改革により、平成24年度に一般財団法人へ移行した。

移行10年目に当たる令和3年度においては、コロナ禍の下、事業計画に基づき、県及び市町に対する各種支援業務等を適宜実施し、研修に係る業務を除き概ね計画どおり遂行できたところである。

まず、研修等業務として技術研修業務については、一部の研修課程の中止等研修実施計画を変更したものの、21回の研修を効果的に実施するとともに、県及び市町の様々なニーズに適確に対応するため、センター独自で積算システムの講座を行った。

次に、調査研究業務については、山口県が抱える様々な土木行政課題の解決を図るため、県と山口大学及び徳山工業高等専門学校と14テーマについて共同研究を行った。

次に、土木積算システム支援業務については、19市町3関係機関に対し、同システムを貸与するとともに適切な運用支援を行った。

次に、積算等受託業務として、県及び市町から77件に及ぶ調査設計管理、設計図書作成及び工事管理業務を受託し、公共工事の迅速で効率的な発注及び執行について積極的に支援した。

次に、土地区画整理業務については、市から引続き1件の業務を受託し、区画整理事業の支援を行った。

また、公益目的業務については、社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座等を実施するとともに、県及び市町土木技術職員等に対する派遣研修支援等を行った。なお、平成29年度に山口大学等と締結した包括協定について、期限が到来したため、引き続き連携を図るために当該協定を更新した。

一方、こうした業務の実施に加え、今後の事業運営の指針となる「中期経営計画（計画期間：R3～R7年度）」を策定した。

## II 庶務事項

### 1 評議員会

当センターの円滑な業務執行を図るため、評議員会を下記のとおり開催した。なお、コロナ禍等のため評議員会については書面決議の対応とした。

区分	開催年月日・場所	議題等
第1回	令和3年4月1日 (臨時:書面決議)	・理事1名の選任について
第2回	令和3年6月4日 (定時:書面決議)	・令和2年度決算について ・評議員1名の選任について ・理事の改選について ・定款の一部変更について ・中期経営計画について

### 2 理事会

当センターの円滑な業務執行を図るため、理事会を下記のとおり開催した。なお、コロナ禍等のため理事会については書面決議の対応とした。

区分	開催年月日・場所	議題等
第1回	令和3年4月1日 (臨時:書面決議)	・理事長の選定について
第2回	令和3年5月19日 (定時:書面決議)	・令和2年度事業報告について ・令和2年度収支予算の補正に関する専決処分について ・令和2年度決算について ・令和2年度公益目的支出計画実施報告書について ・事務所移転について ・令和3年度収支補正予算について ・令和3年度定時評議員会の開催について ・中期経営計画について
第3回	令和3年6月4日 (臨時:書面決議)	・理事長の選定について
第4回	令和4年2月16日 (定時:書面決議)	・令和3年度事業計画の変更について ・令和3年度収支補正予算について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度収支予算について
第5回	令和4年3月31日 (臨時:書面決議)	・評議員会の開催について

### 3 監査

当センターの適切な業務執行のため、下記の監査を受けた。

区分	監査年月日・場所	監査内容
内部 (決算)	令和3年5月11日 センター会議室	令和2年度の事業執行状況、決算及び公益目的支出計画実施報告書について
外部	令和3年12月14日 センター会議室	山口県監査委員事務局令和3年度財政的援助団体等監査 (補助監査)
外部	令和4年2月10日 NPYビル第1会議室	山口県監査委員事務局令和3年度財政的援助団体等監査 (委員監査)

#### 4 評議員及び役員の就退任状況

人事異動等に伴い、次のとおり就退任があった。

職名	就任又は再任		退任又は任期満了	
	氏名	年月日	氏名	年月日
評議員	吉本 英夫	令和 3年 6月 4日	津村 秀雄	令和 3年 6月 4日
〃	片山 克浩	(令和 4年 4月 1日)	森岡 弘道	令和 4年 3月 31日
理事	阿部 雅昭	令和 3年 4月 1日	長井 治明	(令和 3年 3月 31日)
理事長	〃	〃	〃	〃
理事	小森 和雄	令和 3年 6月 4日	小森 和雄	令和 3年 6月 4日
〃	野村 正純	〃	野村 正純	〃
〃	村岡 辰浩	〃	村岡 辰浩	〃
〃	阿部 雅昭	〃	阿部 雅昭	〃
理事長	阿部 雅昭	〃	阿部 雅昭	〃
理事	村上 守	(令和 4年 4月 1日)	小森 和雄	令和 4年 3月 31日
監事	工藤 展照	〃	米原圭太郎	〃

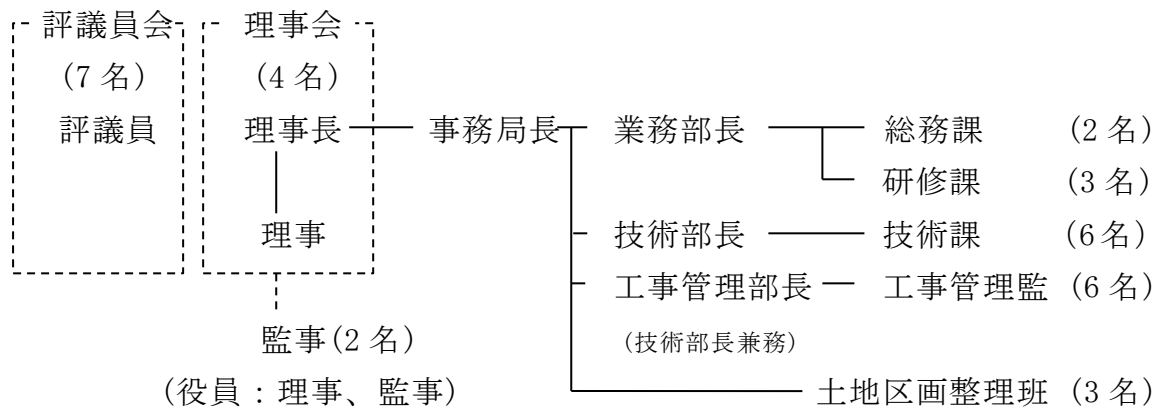
他の法人等の代表理事等との重要な兼職の状況

無し

#### 5 業務執行体制

事業の円滑な実施に対応するため、職員のうち県から5名の派遣を受け、引き続き業務執行体制の確保に努めた。

【センター組織図（令和3年4月1日現在）】



#### 6 役職員※の状況(※この場合の役員は、評議員を含む)

役員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収
13名 (11名)	60歳	4,616千円 (注1)
職員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収
23名 (18名)	56歳	4,799千円 (注2)

※ 平均年齢は令和3年4月1日現在、平均年収は手当込み

(注1) 常勤役員を対象、(注2) 臨時職員を除く全職員を対象

## 7 全国建設技術センター等協議会等への出席状況

例年、全国建設技術センター等協議会関連の会議（集合開催）に参加するところ、コロナ禍のため、書面決議又はWeb会議等となった。

また、令和3年度は、全国建設技術センター等協議会の諮問機関である技術委員会の委員長及び事務局を引受け、技術講習会等を主催するとともに、技術委員会に付託された調査研究テーマ「品確法の改正を踏まえた全技協としての貢献のあり方について」の中間報告を取り纏めた。

会 議 名	場 所	開催年月日	参加人員
令和3年度通常総会	東京都(書面)	R 3. 5. 26	—
令和3年度技術研究発表会(ビデオ審査)	富山県(Web※)	R 3. 9. 16	3人
令和3年度中国四国ブロック支部会議	徳島県(書面)	R 3. 10. 27	—
令和3年度全国会議	宮城県(中止)	—	—
令和3年度中国四国ブロック支部総務担当	鳥取県(Web※)	R 3. 11. 24	1人
令和3年度技術講習会	東京都(Web※)	R 4. 1. 27	8人
令和3年度役員打合せ会	山形県(Web※)	R 3. 6. 3	1人
令和3年度第1回理事会	山形県(Web※)	R 3. 8. 2	1人
令和3年度第2回理事会	山形県(Web※)	R 3. 12. 15	1人
令和3年度第3回理事会	山形県(Web※)	R 4. 2. 15	1人
令和3年度第1回技術委員会	山口県(Web※)	R 3. 7. 8	4人
令和3年度第2回技術委員会	山口県(Web※)	R 3. 11. 11	4人
令和3年度第3回技術委員会	山口県(Web※)	R 4. 2. 3	4人
令和3年度第1回技術委員会作業部会	山口県(Web※)	R 3. 11. 4	2人
令和3年度第2回技術委員会作業部会	山口県(Web※)	R 4. 1. 20	2人

※Web：Web会議、ウェビナー

## 8 職員研修

当センター職員の資質向上を図るため、全国建設研修センターが主催する研修会等8講座に、当センター職員を参加させた。 . . . . 資料1

## 9 事務所移転

令和3年10月1日、山口県春日山庁舎からニューメディアプラザ山口ビル（NPYビル）に事務所を移転した。

新住所：山口市熊野町1番10号 NPYビル10階

旧住所：山口市春日町8番3号 山口県春日山庁舎

### Ⅲ 事業実績

#### 1 研修等業務

##### (1) 技術研修業務

新型コロナウイルス感染の第4波と第5波への感染拡大防止のため、一部の研修課程の中止、日程の変更、日数の変更など研修実施計画を変更するとともに、講義が中心の研修を集合研修からWeb研修に切り替えて実施した。

なお、集合研修の実施に当たっては、マスクの着用はもちろん、原則1机に1人掛け、非接触型体温計での検温、講師卓に飛散防止パネルの設置など、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた。

令和3年度研修実施計画変更一覧表

研修区分	研修課程名	当初日程	日数	変更日程	日数	備考
職務基礎 研修	新任者(前期)	4月20～22日 4月26～28日	各 3	4月20～22日	3	1回で終了
	新任者(後期)	11月10～12日	3	(変更なし)	3	1日目Web研修
	災害復旧基礎	5月31～ 6月2日	3	5月31～ 6月1日	2	Web研修 2日に短縮
	積算システム	5月12日	1	(変更なし)	1	
	CAD	6月9～10日	2	(変更なし)	2	
実務能力 研修	設計積算	5月18～19日	2	6月30～ 7月1日	2	
	道路維持管理実務	8月4日	1	(変更なし)	1	
	河川実務	7月20～21日	2	(変更なし)	2	
	都市計画実務	9月8～9日	2	(変更なし)	2	Web研修
	砂防実務	6月16～17日	2	(変更なし)	2	Web研修
	施工管理実務(前期)	7月7～8日	2	(変更なし)	2	
	施工管理実務(後期)	①9月29日 ②10月6日	各 1	①12月21日 ②11月29日	各 1	
	予算・法令実務	8月25～26日	2	(変更なし)	2	Web研修
	住民合意	8月20日	1	12月7日	1	
	災害復旧工法	7月14～15日	2	(変更なし)	2	
	転勤対象者技術	4月6日	1	(変更なし)	1	Web研修
専門能力 研修	道路計画	9月1～2日	2	11月24～25日	2	
	擁壁設計	6月30～ 7月1日	2	9月29～30日	2	
	交差点設計	11月16～17日	2	(変更なし)	2	
	現場研修	12月1日	1	【中止】	—	
	新技術・新工法	7月27～28日	2	(変更なし)	2	
管理能力 研修	検査技術	10月26～27日	2	10月26日	1	1日に短縮
独自研修	積算システム(市町)	5月13日	1	(変更なし)	1	
公益目的 研修	橋梁設計・維持管理	10月15日 10月19～20日	3	【中止】	—	

## ア 専門技術研修

県及び市町土木技術職員等に対する専門技術研修を行った。

資料2

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の日数	1回の人 数	
					計画	実績
職務基礎研修	新任者(前期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話(山口県の社会資本整備)</li> <li>・設計書の構成と歩掛表の見方(工事編)</li> <li>・土木事業と工事監督</li> <li>・設計書作成演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の新規採用土木職員等</li> </ul>	3	40	30
	新任者(後期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木事業と埋蔵文化財</li> <li>・地質調査について</li> <li>・業務成績評定制度</li> <li>・施工管理と工事検査</li> <li>・設計書の構成(業務編)</li> <li>・設計書作成演習</li> <li>・積算に関する質疑応答</li> </ul>		3	40	31
	災害復旧基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害と災害復旧制度について</li> <li>・災害復旧工法(河川、道路)</li> <li>・査定設計書作成演習</li> <li>(工法検討、設計図書作成、積算)</li> </ul>		2	40	27
	積算システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計書作成(基本編、応用編)</li> <li>・設計書作成演習</li> </ul>		1	30	13
	CAD	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県における各種電子データ活用の取組</li> <li>・CADの概要</li> <li>・CADの操作演習(初級、中級)</li> </ul>		2	30	15
	小 計 ( 5 回 )				—	180
実務能力研修	設計積算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木積算概論</li> <li>・土木積算演習と解説</li> <li>・設計書作成上の留意点</li> <li>・小構造物の設計演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が5年程度の職員等</li> </ul>	2	30	37
	道路維持管理実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山口県における道路維持管理の取組みについて</li> <li>・道路法概論と道路の管理について</li> <li>・道路改良時の維持管理的着眼点について</li> <li>・舗装の維持管理について</li> <li>・道路土工構造物の点検及び法面防災について</li> <li>・道路附属物(標識、照明)の点検について(演習)</li> </ul>		1	30	29
	河川実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川計画及び河川協議について</li> <li>・河川管理について</li> <li>・河川計画演習</li> <li>・浸水想定区域の設定について</li> <li>・河道計画と河川改修の施工事例について</li> <li>・河川管理施設の維持管理について</li> <li>・海岸整備事業について</li> <li>・ダム役割について</li> </ul>		2	30	25
	都市計画実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画の概要</li> <li>・街路事業</li> <li>・公園事業</li> <li>・近年のまちづくりの動向</li> <li>・景観行政</li> <li>・山口県の景観</li> <li>・都市防災総合推進事業</li> <li>・都市再生整備計画事業</li> <li>・事例発表</li> <li>・都市構造再編集集中支援事業</li> <li>・事例紹介</li> </ul>		2	30	30
	砂防実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防・地すべり・急傾斜地の区域指定及び管理</li> <li>・土砂災害防止法</li> <li>・地すべり対策の技術基準</li> <li>・急傾斜地対策の技術基準</li> <li>・設計演習</li> <li>・砂防の技術基準</li> <li>・設計演習</li> </ul>		2	30	28
	施工管理実務(前期)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工計画について</li> <li>・品質管理について</li> <li>・工事監督の留意事項</li> <li>・施工管理と工事検査</li> <li>・工事現場の安全確保について</li> <li>・道路工事等に伴う交通安全対策について</li> </ul>		2	30	26
	施工管理実務(後期①②)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT土工、コンクリートの品質確保</li> <li>・現場実習(岩国土木管内 錦川)</li> <li>(岩国土木管内 平田大橋・御庄川橋)</li> <li>・グループ演習</li> </ul>		各1	30	36
	予算・法令実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術職員のための建設業法</li> <li>・土木技術職員のための予算知識</li> <li>・契約・決算事務の流れ</li> <li>・社会資本整備総合交付金の制度について</li> <li>・地方債制度について</li> <li>・産業廃棄物の処理について</li> <li>・公共工事の労働災害防止</li> </ul>		2	30	29

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の日数	1回の人 数		
					計画	実績	
実務能力研修	住民合意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションについて（概論）</li> <li>・プレゼンテーションについて（基礎）</li> <li>・模擬プレゼンテーション（グループ演習）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が5年程度の職員等</li> </ul>	1	30	11	
	災害復旧工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害と災害復旧制度について</li> <li>・河川・海岸、道路・橋梁の災害復旧について</li> <li>・砂防・地すべりの災害復旧について</li> <li>・災害復旧事業の設計積算について</li> <li>・応急工事について ・改良復旧制度について</li> <li>・復旧工法演習</li> </ul>		2	30	33	
	転勤対象者技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・契約変更ガイドライン等について</li> <li>・建設業法に基づく適正な施工体制について</li> <li>・入札・契約制度の改正について</li> <li>・設計書作成上の留意点</li> <li>・総合評価入札方式について</li> </ul>		1	30	30	
	小 計			( 1 1 回)	—	330	314
専門能力研修	道路計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路計画の概要 ・将来交通量の推計</li> <li>・費用便益分析の解説 ・道路計画演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が10年程度の職員等</li> </ul>	2	30	8	
	擁壁設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・擁壁工設計概論</li> <li>・擁壁工設計演習</li> <li>・擁壁の形式選定と計画</li> <li>・事例紹介</li> </ul>		2	30	21	
	交差点設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路整備技術の手引き</li> <li>・平面交差点の計画と設計</li> <li>・平面交差点の交通容量 ・交通管理について</li> <li>・公安委員会との意見調整 ・交差点協議について</li> <li>・課題の解説・質疑応答</li> </ul>		2	30	22	
	現場研修	【中止】				30	—
	新技術・新工法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・i-Constructionとは ・3次元計測技術</li> <li>・衛星測位と3次元計測技術実習</li> <li>・ICT建機施工</li> <li>・3次元設計データ作成実習</li> <li>・ICT土工の監督・検査要領について</li> </ul>		2	30	28	
小 計			( 4 回)	—	150	79	
管理能力研修	検査技術	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務成績評定制度について</li> <li>・施工管理と工事検査</li> <li>・工事成績評定の改正点・留意点について</li> <li>・模擬工事検査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が20年程度の職員等</li> </ul>	1	30	25	
	小 計			( 1 回)	—	30	25
合 計			( 2 1 回)	—	690	534	



## イ センター独自研修

県及び市町の多様なニーズに対応するため、専門技術研修課程以外の研修をセンター独自で実施した。

### センター独自研修

	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の 日数	1回の 人数
1	積算システム	・設計書作成（基本編、応用編） ・設計書作成演習、質疑応答	市町の新規採用土木職員等	1	18
合 計 (1回)				1	18

## (2) 調査研究業務

山口県土木行政課題の解決を支援するため、14テーマについて共同研究を行った。

(山口大学 12テーマ、徳山工業高等専門学校 2テーマ)

	研 究 題 目	研究機関	備考
1	水辺の小わざによる河道内堆砂・植生繁茂制御に関する研究	山口大学	継続
2	効率的・効果的な社会基盤施設の整備及び維持管理に資する BIM/CIM データの活用法に関する研究	〃	〃
3	橋梁の変位監視への GPS 変位モニタリングについて	〃	新規
4	トンネル地震被害リスクと健全度を複合的に考慮した山口県のトンネル調査・補修の優先度選定に関する研究	〃	継続
5	土砂洪水氾濫リスクと土砂供給ポテンシャルの把握に関する研究	〃	〃
6	「災害情報共有システム（仮称）」を活用した災害発生時の初動調査体制確立に関する研究	〃	〃
7	衛星画像による河道形状および河川植生繁茂の時空間変化の把握	〃	新規
8	山口県における公共建築物の重要度係数による地震被害抑制効果に関する研究	〃	〃
9	山口県の流域治水の在り方に関する基礎的研究	〃	〃
10	鋼橋に施されたアルミニウム溶射の補修方法に関する検討	〃	〃
11	立地適正化計画策定都市における「非集約エリア」の基本的な方針に関する研究	〃	〃
12	心と体の健康を増進する、公園の新たな利活用に関する研究	〃	〃
13	住民参加型土砂災害ハザードマップ作成の手引きの策定支援プロセスの検討に関する実践的研究	徳山高専	継続
14	山口県内の建設現場を活用した汎用的な教育・PR 動画コンテンツの開発	〃	新規

## (3) 情報提供業務

土木技術に関する情報を情報誌等により県・市町の土木技術職員に提供した。

また、ホームページにより、センター業務のPRや土木技術の情報提供を行い、様々な技術相談に対し適切に対応した。

#### (4) 土木積算システム運用支援業務

市町、県等の設計図書作成業務の迅速化、効率化を図るため、市町、県等に対して土木積算システムの運用支援を行った。

また、無料相談について、86件の照会に対応した。

令和3年度支援先台数一覧（19市町及び3関係機関） 資料3

支援先	台数（台）	金額（千円）	摘要
市町	360	46,953	13市6町
その他	69	8,634	県3機関
合計	429	55,587	

## (5) 技術アドバイザー派遣業務

土木技術が高度化する中、発注者としての責務を果たすために、技術的経験の伝承が困難な8工種（橋梁、トンネル、地盤基礎、下水処理、建設環境、法面・斜面、ダム、コンクリート）について登録された技術アドバイザー（学識経験者33名、県土木技術職員等45名）を選定・派遣依頼し、担当者に助言をしてもらった。

### 【県】

	派遣先	事業名	概要	工種	摘要
1	宇部土木建築事務所	一般国道490号（絵堂萩道路）道路改良（雲雀山トンネル）工事	ナトム工法による道路トンネル	トンネル、法面・斜面	学識経験者
2	防府土木建築事務所	仁保川単独河川改修（通常）工事	魚道改修	建設環境	学識経験者
3	周南土木建築事務所	一般国道376号道路災害復旧工事	グラウンドアンカー工、鉄筋挿入工	法面・斜面	学識経験者
4	宇部土木建築事務所	主要県道宇部船木線道路改良工事	盛土工・グラウト注入工	トンネル、法面・斜面	学識経験者
				地盤基礎	学識経験者

### 【市町】

	派遣先	事業名	概要	工種	摘要
1	岩国市	市道渋前5号線（黒瀬橋）詳細設計に伴う調査業務	橋梁調査	橋梁	学識経験者
2	萩市	市道宮ヶ原線災害復旧工事	法面工事	法面・斜面	学識経験者
3	岩国市水道局	錦見取水施設耐震化導水管推進工事	推進工事	トンネル	学識経験者

## 2 積算等受託業務

県及び市町が行う建設事業の円滑な執行を支援するため、次の業務を行った。

### 【調査設計管理業務・設計図書作成業務・工事管理業務】 資料4・5

区分	県事業		市町事業		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
調査設計管理業務	23	46,655	0	0	23	46,655	
内 訳	調査設計管理	13	17,818	0	0	13	17,818
	技術マニュアル作成	9	28,233	0	0	9	28,233
	設計成果チェック	1	604	0	0	1	604
設計図書作成業務	38	44,052	8	4,777	46	48,829	
工事管理業務	8	58,700	0	0	8	58,700	
合計	69	149,408	8	4,777	77	154,185	

### 【土地区画整理業務】

区分	—	市町事業		備考
		件数	金額(千円)	
土地区画整理業務	—	1	39,226	換地処分作成業務等

### 【参考：前年度実績】

#### 【調査設計管理業務・設計図書作成業務・工事管理業務】

区分	県事業		市町事業		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
調査設計管理業務	25	44,900	1	1,357	26	46,257	
内 訳	調査設計管理	15	18,128	1	1,357	16	19,485
	技術マニュアル作成	5	24,301	0	0	5	24,301
	設計成果チェック	5	2,471	0	0	5	2,471
設計図書作成業務	46	48,137	16	9,644	62	57,781	
工事管理業務	9	74,566	0	0	9	74,566	
合計	80	167,603	17	11,001	97	178,604	

#### 【土地区画整理業務】

区分	—	市町事業		備考
		件数	金額(千円)	
土地区画整理業務	—	2	35,156	出来形確認測量等

### 3 公益目的業務

公益目的事業( (1) ~ (3) ) . . . 資料6

近年、地域の良好な社会経済活動の保全や活性化及び住民に対する安全・安心の確保のため、社会インフラの老朽化対策等が喫緊の課題となっており、この課題に的確に対応するため、建設技術者の人材育成を図る講座の実施、及び建設事業に関する構造物の品質向上に向けた調査研究に引き続き取り組んだ。

#### (1) 社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座 (4,797 千円)

項目	内容
初心者の技術レベルの底上げ	今年度も10月に「橋梁設計・維持管理研修」を計画していたが、新型コロナウイルス感染の第5波及びこれに対する県の「デルタ株感染拡大防止集中対策」の実施（令和3年8月13日～9月26日）により開催案内を見合わせたことから、講師との日程の再調整がつかず、中止とした。
中核となる人材の育成	実施日：令和3年9月17日～10月15日（全7回） 題 目：令和3(2021)年度社会基盤メンテナンスエキスパート山口（ME山口）養成講座 対象者：社会基盤整備に関する実務経験を有する県・市町技術職員及び民間技術者 内 容：「橋梁とトンネル」の設計から点検および補修・補強に関する専門的事項に係る座学と現場実習 合格者数：13名（市：7名、民間等：6名） （例年募集人数を25名程度としているところ、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、募集人数を15名程度に規模を縮小した。） その他：山口大学との共同開催 <span style="float: right;">(4,797 千円)</span>

#### (2) 建設業に関する講座

項目	内容
出前講座 (建設業の魅力のPR)	6月15日 岩国工業高等学校 35名 (4校から実施の希望があったが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う学校側との調整の結果、1校のみ実施した。)

(3) 大学等との共同（技術）研究（1,999 千円）

項目	内容
共同研究 (コンクリート 構造物をテー マとした研究 教材の製作)	実施期間：平成29年度～令和3年度（5年間：5年目） 題 目：品質の良いコンクリート構造物を造るための、伝承教材 に関する研究 内 容：コンクリート構造物の品質確保のための技術の理解・普 及・伝承を目的とした教材づくりや、品質確保のための 基礎研究 今年度は、伝承教材として解説すべき事項のコンテン ツの室内実験（締固め位置に関する実験）の実施及び伝 承ポイントの検証を行い教材としてとりまとめた そ の 他：徳山工業高等専門学校との共同研究 (999 千円)
共同研究 (社会基盤施設 のライフサイ クルに係るデ ータの効率的 な保管及び活 用システムの 構築)	実施期間：平成31年度～令和3年度（3年間：3年目） 題 目：社会基盤施設のライフサイクルデータ活用に関する研究 内 容：社会基盤施設の完成図書から補修施工資料までの各デー タを効果的かつ効率的に保管運用する手法や将来の効果 的維持管理手法を考察する研究 今年度は、ライフサイクルデータ保管管理システムのプ ロトタイプについて実用化の検証及びトンネル等の施設 への拡張について検証した そ の 他：山口大学との共同研究 (1,000 千円)

継続事業( (4) ~ (5) )

(4) 派遣研修支援（1,173 千円）

県及び市町土木技術職員等を国土交通大学校等の研修に派遣する場合、テキスト代の経費について支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴う東京出張自粛のため、辞退者も多数出た一方で、Web研修での受講が多かった。

	当初支援決定	支援実績
県職員	20名	11名（うちWeb研修10名）
市町職員	20名	11名（うちWeb研修7名）

(5) 情報提供（410 千円）

当センターの編集制作する情報誌を、県及び市町の土木技術職員等全員に配付した。

ホームページ等を活用して、公益目的業務に関する情報の提供を行った。

## IV 事業計画と実績との対比

当 初	実 績
<p>1 研修等業務</p> <p>(1) 技術研修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修回数：<u>22回</u></li> <li>・参加人数：<u>690人</u></li> <li>・センター独自研修の実施</li> </ul> <p>(2) 調査研究業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官学共同研究の実施</li> </ul> <p>(3) 情報提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌配布、技術相談等</li> </ul> <p>(4) 土木積算システム運用支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム貸出台数：<u>400台</u></li> </ul> <p>(5) 技術アドバイザー派遣業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術アドバイザー派遣</li> </ul>	<p>1 研修等業務</p> <p>(1) 技術研修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修回数：<u>21回</u></li> <li>・参加人数：<u>534人</u>※1</li> <li>・同左</li> </ul> <p>(2) 調査研究業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左 : <u>14テーマ</u></li> </ul> <p>(3) 情報提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul> <p>(4) 土木積算システム運用支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム貸出台数：<u>429台</u></li> </ul> <p>(5) 技術アドバイザー派遣業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul>
<p>2 積算等受託業務</p> <p>(1) 積算等受託業務件数 : <u>87件</u></p> <p>(2) 土地区画整理業務件数：<u>1件</u></p>	<p>2 積算等受託業務</p> <p>(1) 積算等受託業務件数 : <u>77件</u></p> <p>(2) 土地区画整理業務件数：<u>1件</u></p>
<p>3 公益目的業務</p> <p>(1) 公益目的事業</p> <p>ア 社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座 (初心者、中核となる人材)</p> <p>イ 建設業に関する講座 (出前講座)</p> <p>ウ 大学等との共同(技術)研究 (共同研究2件)</p> <p>(2) 継続事業</p> <p>ア 派遣研修支援 (国土交通大学等派遣研修支援)</p> <p>イ 情報提供</p>	<p>3 公益目的業務</p> <p>(1) 公益目的事業</p> <p>ア 同左※2</p> <p>イ 同左</p> <p>ウ 同左</p> <p>(2) 継続事業</p> <p>ア 同左※3</p> <p>イ 同左</p>

※1 研修の回数及び参加人数の減については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部研修を中止、**延期**したことによる

※2 講座の実施については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小し実施

※3 派遣研修支援業務の支援者数については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う東京出張の自粛のため、辞退者多数



## V 令和3年度事業報告書に係る附属明細書について

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。